
**小城市総合計画後期基本計画
進行管理に係る
市民アンケート調査**

－ 概要版（要約編） －

平成２７年（２０１５年）７月
佐賀県 小城市

～ 目 次 ～

I	調査の概要	1
II	回答者の属性	5
	1. 性別	5
	2. 年齢	5
	3. 職業	5
	4. 家族構成	6
	5. 小城市での居住年数	6
III	調査結果	7
	【1】市の現状について	7
	1. 小城市の住みやすさ（住み心地）	7
	2. 小城市への永住意向	7
	（1）小城市への永住意向	7
	（2）住み続けたくない主な理由	8
	【2】市街地について	9
	1. 市街地整備状況評価	9
	2. 「にぎわいのあるまち」意識	9
	【3】情報通信について	10
	1. インターネットの利用状況	10
	【4】道路・公共交通について	11
	1. 公共交通機関の利便性評価	11
	2. 市内道路の利用に対する満足度	11
	【5】自然環境・環境問題について	12
	1. 自然環境問題への関心度	12
	2. 小城市内の景観に対する満足度	12
	3. 「4 R 運動」の実践状況	13
	4. 小城市内の公園利用状況	13
	5. 景観保全状況評価	14
	【6】保健・医療・福祉について	15
	1. 医療機関数等の充実状況について	15
	（1）医療機関数等の充実状況評価	15
	（2）不足していると思う診療科目	15
	2. 健康づくりについて	16
	（1）健康づくり実践状況	16
	（2）健康づくりのために実践していること	16
	（3）健康づくりを実践していない理由	17
	3. 高齢者福祉・介護サービスの充実評価	17
	4. 生きがいをもって自立した生活ができていることについて	18
	5. 障がい者福祉の充実評価	18

6. 子育てについて -----	19
(1) 安心して子育てができるまち評価 -----	19
(2) 安心して子育てができるまちと感ない理由 -----	20
【7】観光について -----	21
1. 観光施設や観光イベントに対する満足度 -----	21
【8】社会教育・生涯学習について -----	22
1. スポーツ実践状況 -----	22
2. 自発的、主体的な学習への取り組み状況 -----	22
3. 市の芸術・文化活動に対する満足度 -----	23
4. 文化的活動等への参加状況 -----	23
【9】市の広報活動について -----	24
1. 市の広報活動に対する満足度 -----	24
【10】男女共同参画、市民活動・ボランティア活動、協働について ---	25
1. 固定的な性別役割分担意識について -----	25
2. 市民活動やボランティア活動について -----	25
(1) 市民活動やボランティア活動参加意向 -----	25
(2) 今後参加したい活動 -----	26
3. 「協働」の意味の認知 -----	27
【11】人権について -----	28
1. 人権侵害意識 -----	28
【12】市政運営について -----	29
1. 市政運営についての満足度 -----	29

I 調査の概要

【調査の目的】

本市の基本的な方向性を示す長期的計画である「小城市総合計画後期基本計画」の実行にあたって、行政の経営が目指す方向に向かっているかどうか、市民の市政に対する意見や要望等を把握し、今後の計画の進行管理及びまちづくり施策等に反映させることを目的として実施した。

【調査地域】

小城市全域

【調査対象】

本市に居住する 19 歳以上の市民

【対象者抽出方法】

住民基本台帳による無作為抽出

【調査方法】

郵送配布～郵送回収

【調査期間】

平成 27 年（2015 年）5 月

【回収結果】

配布数 ----- 2,000 件

有効回収率 ----- 785 件

有効回収率 ----- 39.3%

◆地区別回収状況（上段：件数、下段：構成比％）◆

標本数	小城地区	三日月地区				三日月地区	牛津地区			砥川地区	芦刈地区	無回答
		桜岡校区	岩松校区	晴田校区	三里校区		牛津校区	牛津校区	砥川校区			
785	274	77	49	120	28	220	184	144	40	95	12	
100.0	34.9	9.8	6.2	15.3	3.6	28.0	23.4	18.3	5.1	12.1	1.5	

※「問1(1)現在お住まいの地区」回答結果より

【標本誤差について】

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体の比率を推定するため、単純無作為抽出の場合の標本誤差について、次に算出式と早見表を示す。

統計学上の標本誤差は、比率算出の基数（回答サンプル数）及び回答の比率によって誤差幅が異なる。今回調査の誤差幅は全体で最大±3.6%以内（50%程度の欄参照）となる。

◆参考／算出式◆

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母集団数(本市の19歳以上の男女)
n=比率算出の基数(回答サンプル数)
p=回答の比率(0≤p≤1)

◆早見表◆

回答比率(p) 標本数(n)	5%または 95%程度	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
100	±4.4%	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%
200	±3.1%	±4.2%	±5.7%	±6.5%	±6.9%	±7.1%
500	±1.9%	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
785	±1.6%	±2.1%	±2.9%	±3.3%	±3.5%	±3.6%
1,000	±1.4%	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%

[表の見方について]

「標本誤差」とは、今回のように全体（母集団）から一部の標本を抽出して行う標本調査と、全体を対象に行う調査（しっかい調査）とを比べた時に生じる調査結果上の誤差のことであり、計算式に今回の調査をあてはめて算出したものが上記の表である。

見方としては、例えば、ある設問中の選択肢（例：「そう思う」）の回答比率が10.0%であった場合、今回の標本数785サンプルの場合、母集団におけるその回答比率の誤差の範囲は±2.1%の範囲内（母集団で「そう思う」と回答する人の比率は7.9%～12.1%）であることを95%の確率で言える」とみることができる。95%とは、100回同じ調査を行って、95回同じ結果（同じ誤差範囲）が出ると想定される、という意味である。

一般的に調査主体（自治体等）は、標本誤差については最大±5.0%以内になるよう目標を設定（おおむね500サンプル以上）して、回収率を上げる努力を行っている場合が多く、統計学上も「少なくとも科学的な結論を導き出すには400～500サンプルは欲しい（東京大学名誉教授 飽戸弘先生の見解）」と言われている。

【調査項目一覧】

回答者の属性(問1)	
問1(1)	居住地区
問1(2)	性別
問1(3)	年齢
問1(4)	職業
問1(5)	家族構成
問1(6)	小城市での居住年数
【1】市の現状について(問2～3付問)	
問2	小城市の住みやすさ(住み心地)
問3	小城市への永住意向
問3付問	住み続けたくない主な理由
【2】市街地について(問4～5)	
問4	市街地整備状況評価
問5	「にぎわいのあるまち」意識
【3】情報通信について(問6)	
問6	インターネット利用状況
【4】道路・公共交通について(問7～8)	
問7	公共交通機関の利便性評価
問8	市内道路の利用に対する満足度
【5】自然環境・環境問題について(問9～13)	
問9	自然環境問題への関心度
問10	小城市内の景観に対する満足度
問11	「4R運動」の実践状況
問12	小城市内の公園利用状況
問13	景観保全状況評価
【6】保健・医療・福祉について(問14～19付問)	
問14	医療機関数等の充実状況評価
問14付問	不足していると思う診療科目
問15	健康づくり実践状況
問15付問1	健康づくりのために実践していること
問15付問2	健康づくりを実践していない理由
問16	高齢者福祉・介護サービスの充実評価
問17	生きがいをもって自立した生活ができていることについて
問18	障がい者福祉の充実評価
問19	安心して子育てができるまち評価
問19付問	安心して子育てができるまちと感ぜない理由
【7】観光について(問20)	
問20	観光施設や観光イベントに対する満足度

【8】社会教育・生涯学習について(問 21～24)	
問 21	スポーツ実践状況
問 22	自発的、主体的な学習への取り組み状況
問 23	市の芸術・文化活動に対する満足度
問 24	文化的活動等への参加状況
【9】市の広報活動について(問 25)	
問 25	市の広報活動に対する満足度
【10】男女共同参画、市民活動・ボランティア活動、協働について(問 26～28)	
問 26	固定的な性別役割分担意識について
問 27	市民活動やボランティア活動参加意向
問 27 付問	今後参加したい活動
問 28	「協働」の意味の認知
【11】人権について(問 29)	
問 29	人権侵害意識
【12】市政運営について(問 30)	
問 30	市政運営についての満足度
自由意見(問 31)	
問 31	施策のあり方などについての意見・要望(自由記述)

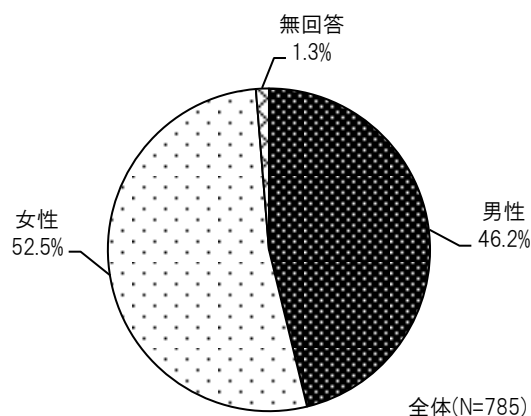
【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数※を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) 全ての設問について、過去に実施した同調査(「前回調査」や「前々回調査」と表記)との比較も行っている。
- (7) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

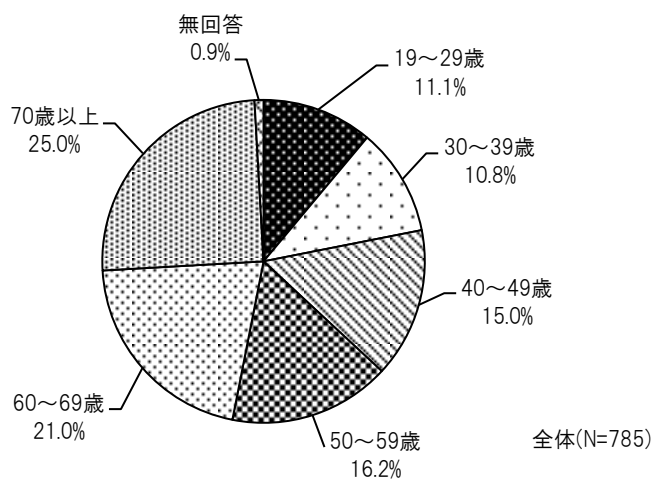
※(例)問Aで1と回答した人のみが、問Bを答える場合の問Bの基数、あるいはクロス集計における「男性」や「30 歳代」・・・など、限定された回答者数

Ⅱ 回答者の属性

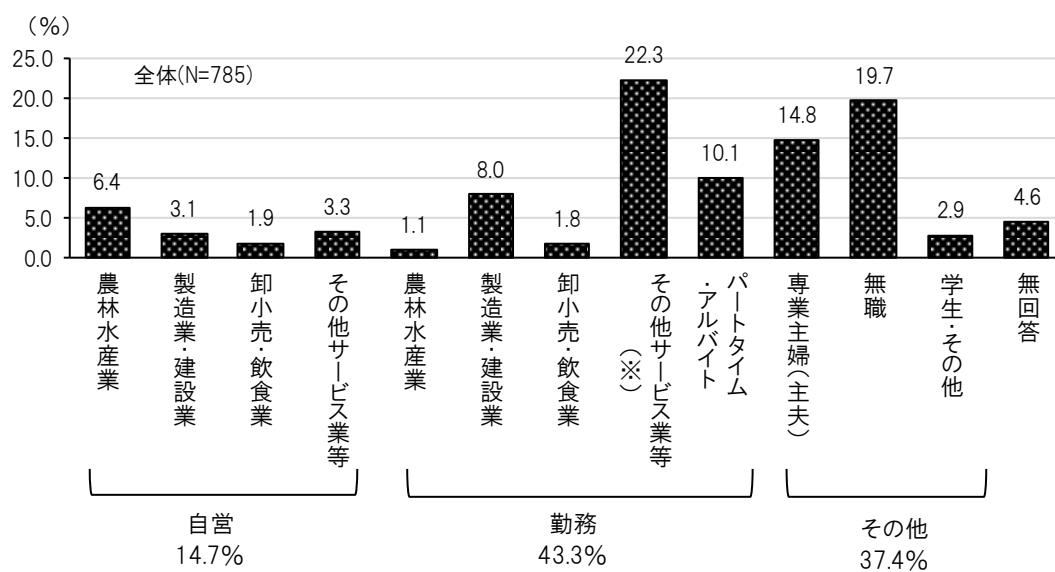
1. 性別



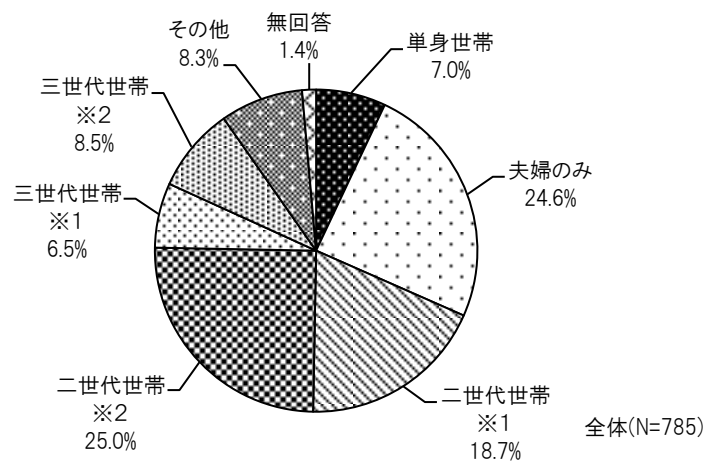
2. 年齢



3. 職業



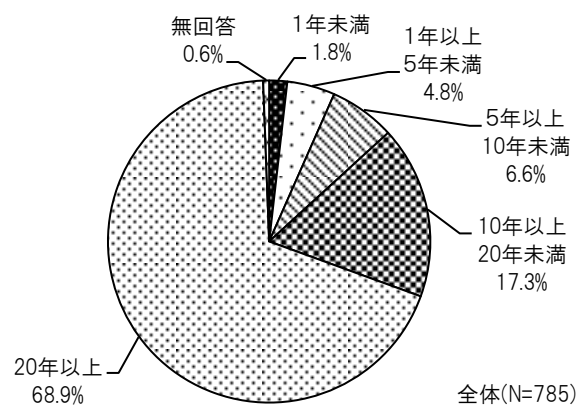
4. 家族構成



※1 この中に中学生以下がいる

※2 この中に中学生以下がいない

5. 小城市での居住年数



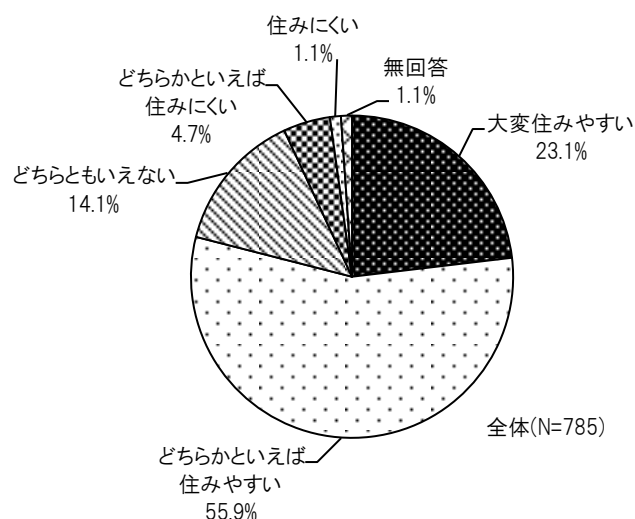
Ⅲ 調査結果

【1】市の現状について

1. 小城市の住みやすさ（住み心地）

問2. あなたは、小城市の「住みやすさ（住み心地）」について、どのように感じていますか。（○印1つ）

小城市の住みやすさ（住み心地）については、「大変住みやすい」が23.1%、「どちらかといえば住みやすい」が55.8%で、合計8割近く（78.9%）が『住みやすい』と評価している。一方「どちらかといえば住みにくい」（4.7%）、「住みにくい」（1.1%）の合計は5.8%となっている。

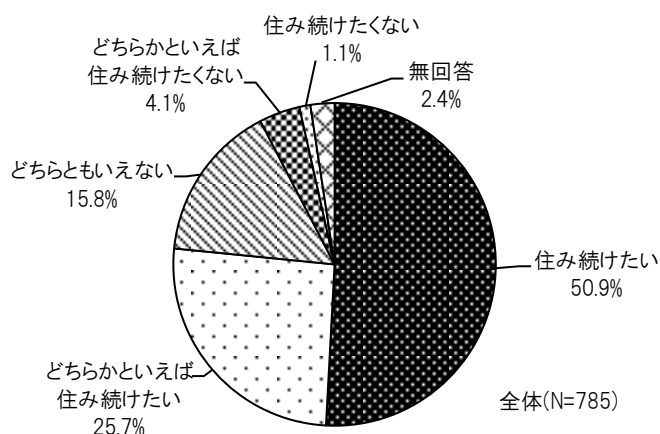


2. 小城市への永住意向

（1）小城市への永住意向

問3. あなたは、これからも小城市に住み続けたいと思いますか。（○印1つ）

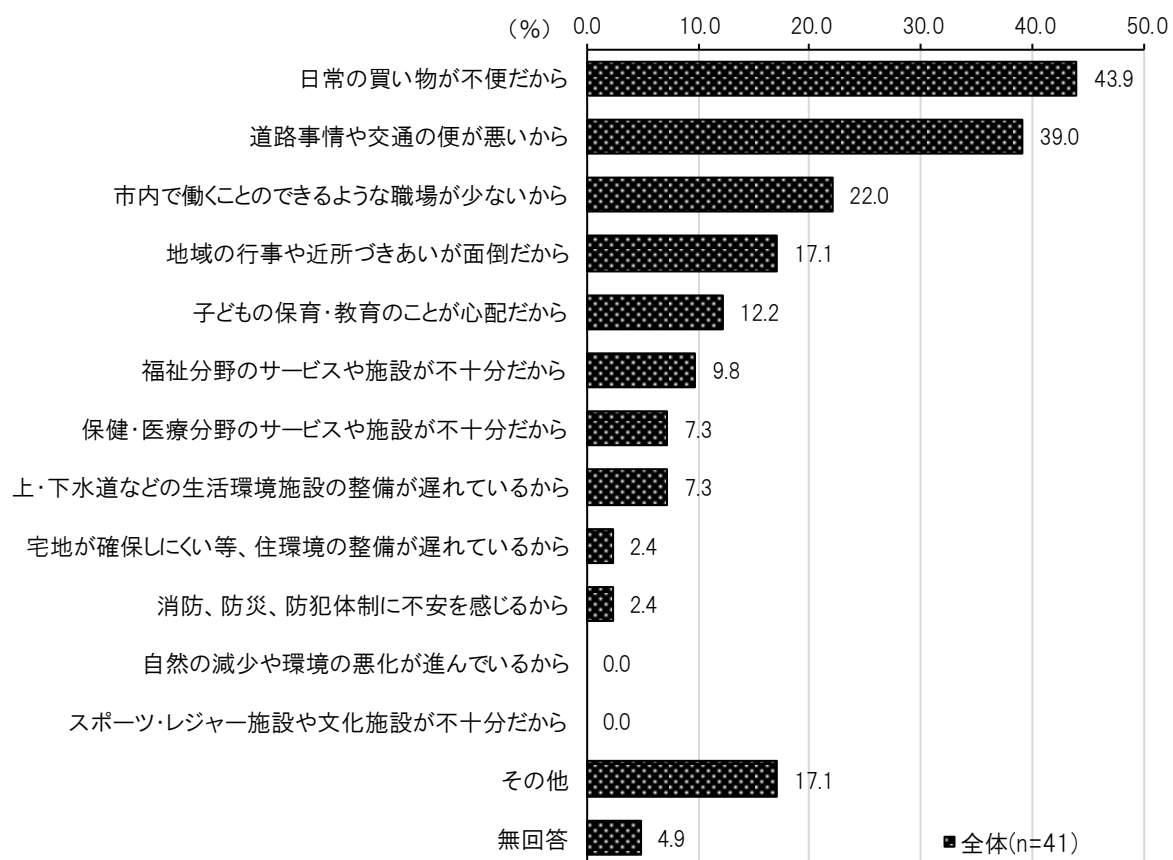
小城市への永住希望については、「住み続けたい」が50.8%、「どちらかといえば住み続けたい」が25.7%で、合計7割以上（76.5%）が『住み続けたい』と回答している。一方「どちらかといえば住み続けたくない」（4.1%）、「住み続けたくない」（1.1%）の合計は5.2%となっている。



(2) 住み続けたくない主な理由

問3付問（問3で4～5と回答した方へ）住み続けたくない主な理由はどのようなことですか。（○印2つまで）

住み続けたくない主な理由については、「日常の買い物が不便だから」が43.9%と最も高く、次いで「道路事情や交通の便が悪いから」（39.0%）、「市内で働くことのできるような職場が少ないから」（22.0%）、「地域の行事や近所づきあいが面倒だから」（17.1%）、「子どもの保育・教育のことが心配だから」（12.2%）の順となっている。

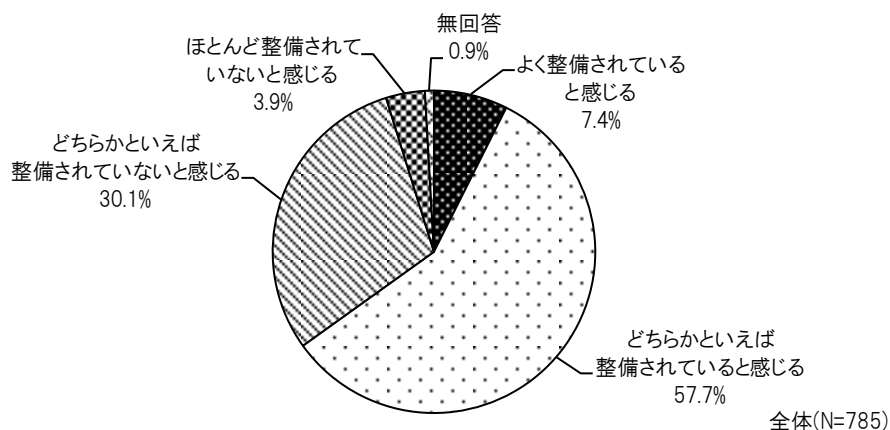


【2】市街地について

1. 市街地整備状況評価

問4. 小城市の市街地は「整備されている」と感じていますか。（○印1つ）

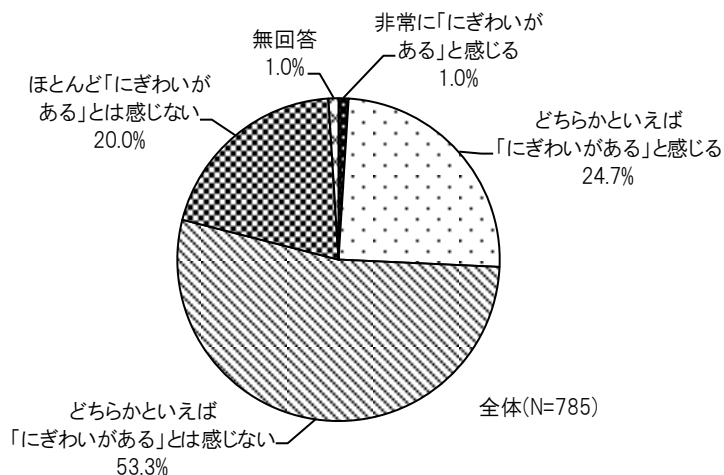
市街地整備状況評価については、「よく整備されていると感じる」が7.4%、「どちらかといえば整備されていると感じる」が57.7%で、合計6割以上（65.1%）が『整備されている』と回答している。一方、「どちらかといえば整備されていないと感じる」は30.1%、「ほとんど整備されていないと感じる」が3.9%で、『整備されていないと感じる』は合計で3割以上（34.0%）となっている。



2. 「にぎわいのあるまち」意識

問5. 小城市のことを、どの程度「にぎわいのあるまち」と感じていますか。（○印1つ）

「にぎわいのあるまち」意識については、「非常ににぎわいがあると感じる」が1.0%、「どちらかといえばにぎわいがあると感じる」が24.7%で、合計25.7%が『にぎわいがある』と感じている。一方、「どちらかといえばにぎわいがあるとは感じない」が過半数（53.2%）、「ほとんどにぎわいがあるとは感じない」が2割（20.0%）で、合計7割以上（73.2%）が、にぎわいを感じていない。

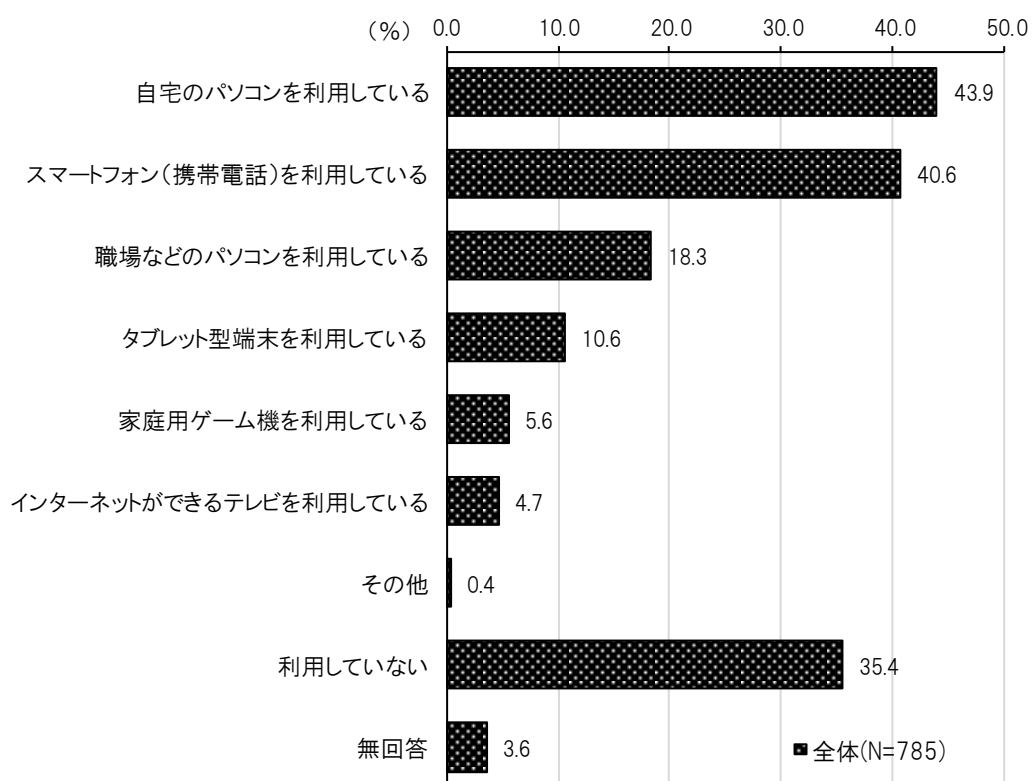


【3】情報通信について

1. インターネットの利用状況

問6. インターネットを利用されていますか。（○印いくつでも）

インターネットの利用状況については、「自宅のパソコンを利用している」が43.9%と最も高く、次いで「スマートフォン（携帯電話）を利用している」（40.6%）、「職場などのパソコンを利用している」（18.3%）の順となっている。「利用していない」割合が35.4%であることから、インターネット利用率は全体で約6割となっている。

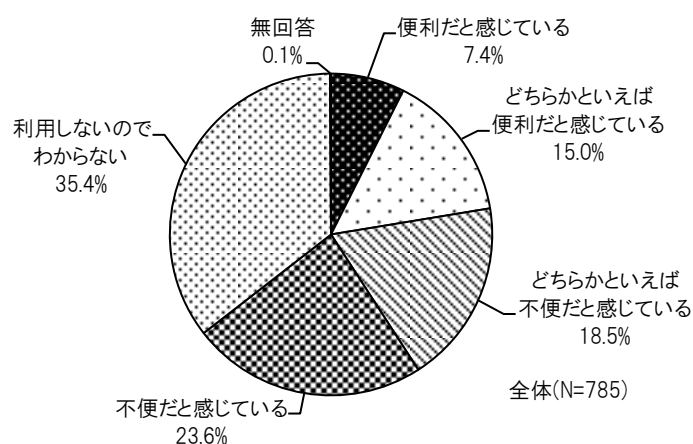


【4】道路・公共交通について

1. 公共交通機関の利便性評価

問7. あなたは、日常生活の移動（通勤、通学、通院、買い物など）で利用する市内のバスや鉄道などの公共交通機関を便利だと感じていますか。（○印1つ）

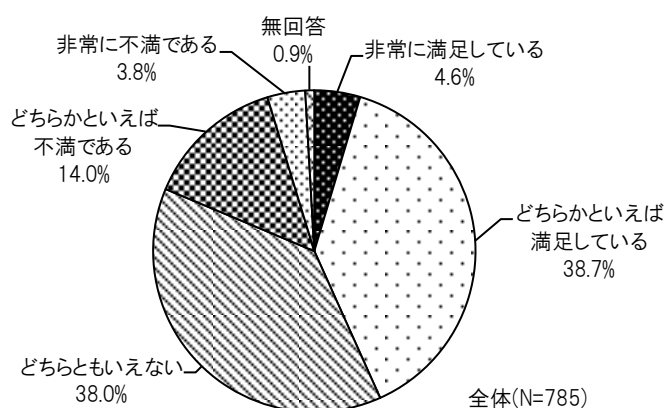
公共交通機関の利便性評価については、「便利だと感じている」が7.4%、「どちらかといえば便利だと感じている」が15.0%で、合計22.4%が『便利である』と利便性を評価している。一方、「どちらかといえば不便だと感じている」は18.5%、「不便だと感じている」は23.6%で、合計42.1%が『不便である』と回答している。



2. 市内道路の利用に対する満足度

問8. あなたは、小城市内の道路の「目的地までの行きやすさや使いやすさ」について、どの程度満足されていますか。（○印1つ）

市内道路の利用に対する満足度については、「非常に満足している」が4.6%、「どちらかといえば満足している」が38.7%で、合計4割以上（43.3%）が『満足』と評価している。一方、「どちらかといえば不満である」は14.0%、「非常に不満である」が3.8%で、合計17.8%が『不満』と回答している。

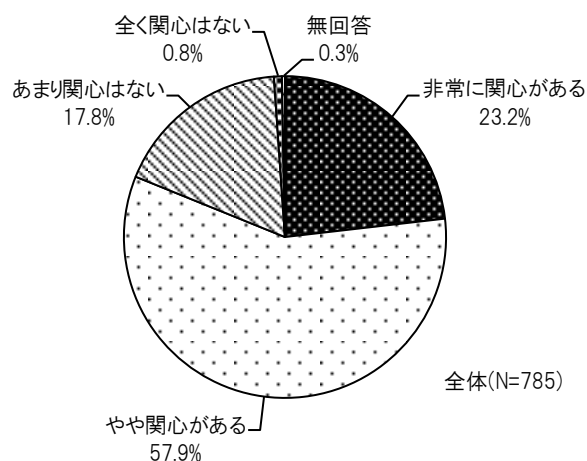


【5】自然環境・環境問題について

1. 自然環境問題への関心度

問 9. あなたは、自然環境問題にどの程度関心がありますか。（○印 1 つ）

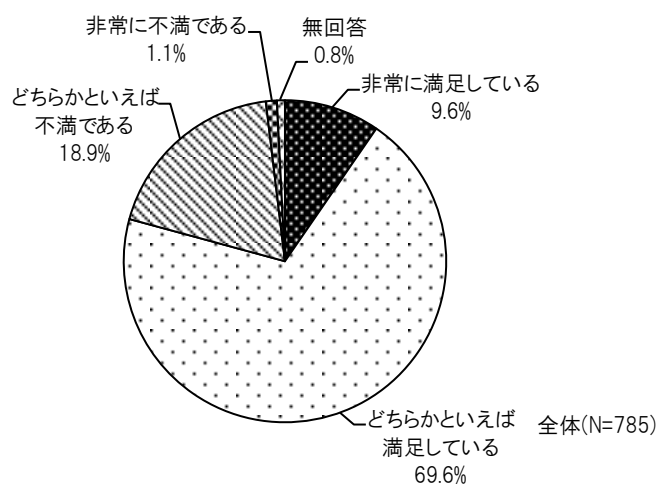
自然環境問題への関心度については、「非常に関心がある」が 23.2%、「やや関心がある」が 58.0%と過半数を占め最も高く、合計 81.2%と 8 割以上が関心を示している。



2. 小城市内の景観に対する満足度

問 10. あなたは、小城市内の景観に満足していますか。（○印 1 つ）

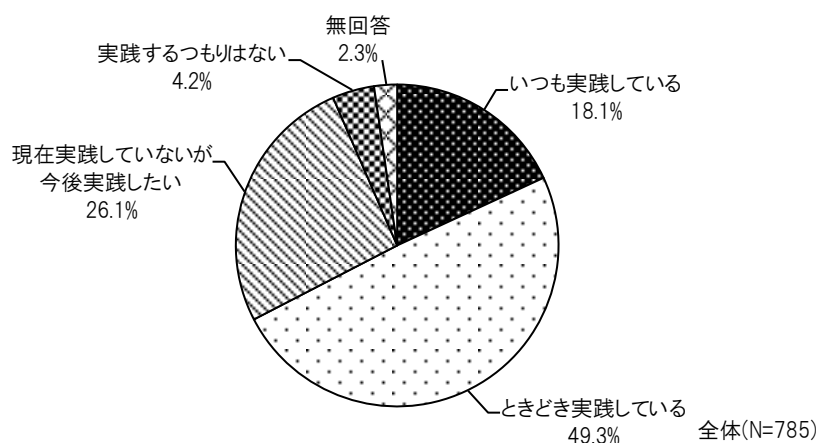
景観に対する満足度については、「非常に満足している」が 9.6%、「どちらかといえば満足している」が 69.7%と最も高く、合計 79.3%と約 8 割が『満足』と評価している。一方、「どちらかといえば不満である」は 18.9%、「非常に不満である」が 1.1%で、合計で 2 割（20.0%）が『不満』と回答している。



3. 「4 R運動」の実践状況

問 11. あなたは「4 R運動」※を実践していますか。（○印1つ）

「4 R運動」の実践状況については、「いつも実践している」が18.1%、「ときどき実践している」が49.3%と半数を占め最も高く、合計6割以上（67.4%）が『実践している』と回答している。また、およそ4人に1人が「現在実践していないが今後実践したい」と回答している。

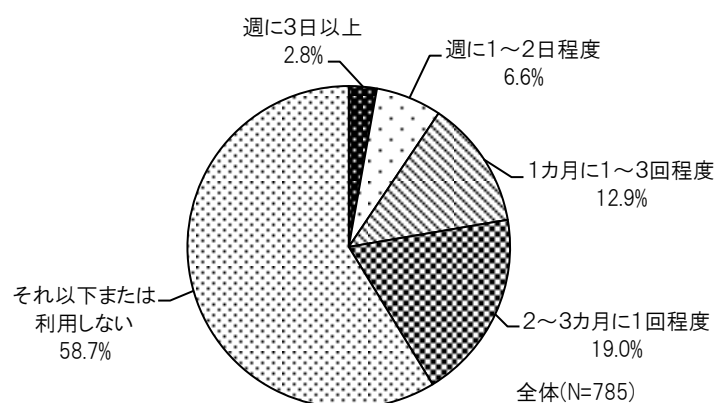


※「4R運動」→「REDUCE(リデュース=発生抑制)」「REUSE(リユース=再使用)」「RECYCLE(リサイクル=再利用)」「REFUSE(リフュース=購入拒否)」の頭文字をとった環境運動のことで、「循環型社会」を目指した政府の方針に採用された考え方。

4. 小城市内の公園利用状況

問 12. あなたはふだん、小城市内の公園（いこいの場、交流の場、子どもの遊び場など）を、どの程度利用していますか。（○印1つ）

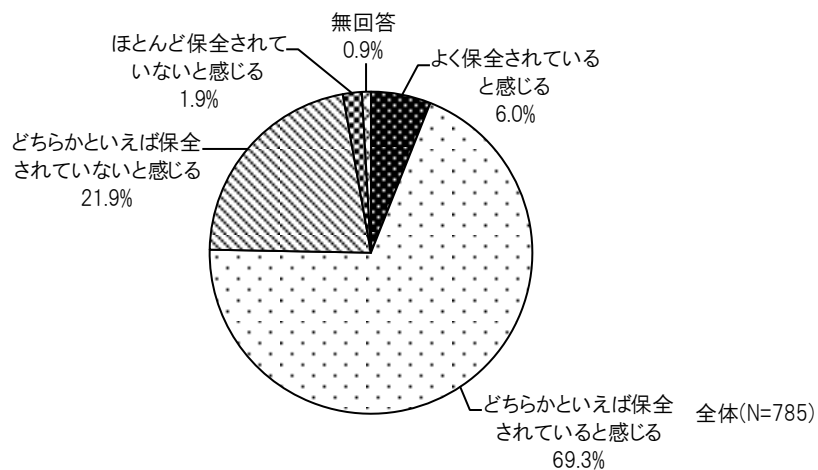
小城市内の公園利用状況については、「それ以下または利用しない」割合が6割近く（58.7%）を占め最も高く、次いで「2～3カ月に1回程度」（19.0%）、「1カ月に1～3回程度」（12.9%）の順となっている。『3カ月に1回以上（合計）』でみると、4割（41.3%）となっている。



5. 景観保全状況評価

問 13. あなたは、小城市の景観は保全されていると感じていますか。（○印1つ）

景観保全状況評価については、「よく保全されていると感じる」が 6.0%、「どちらかといえば保全されていると感じる」が 69.3%で、合計 7 割以上（75.3%）が『保全されている』と評価している。一方、「どちらかといえば保全されていないと感じる」は 21.9%、「ほとんど保全されていないと感じる」が 1.9%で、合計 23.8%が『保全されていない』と回答している。



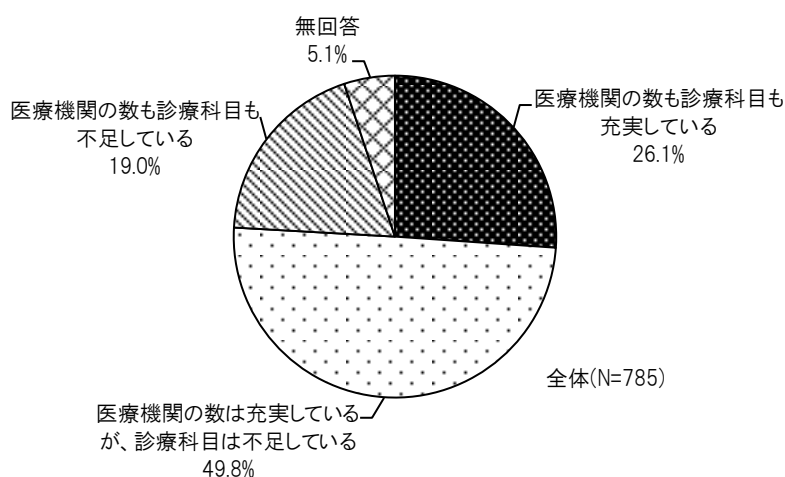
【6】保健・医療・福祉について

1. 医療機関数等の充実状況について

(1) 医療機関数等の充実状況評価

問 14. あなたは、小城市内の医療機関の数や診療科目は充実していると思いますか。
(○印1つ)

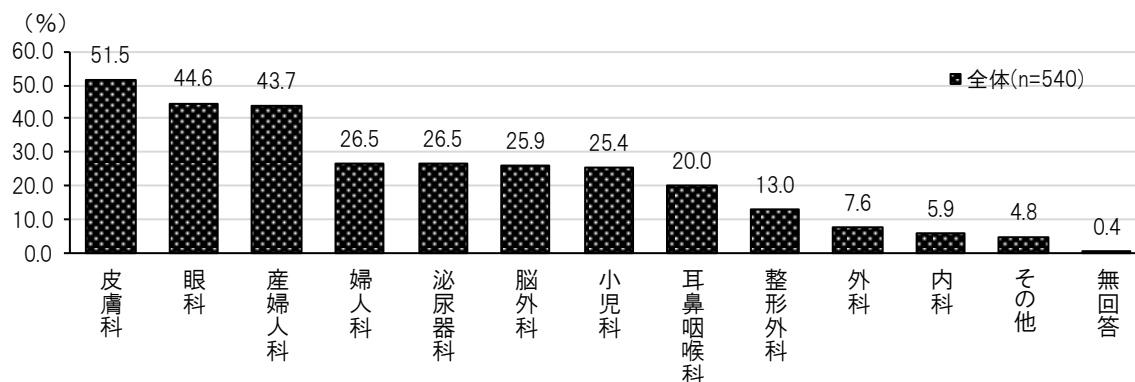
医療機関数等の充実状況評価については、「医療機関の数は充実しているが、診療科目は不足している」が約半数（49.8%）を占め最も高く、次いで「医療機関の数も診療科目も充実している」（26.1%）、「医療機関の数も診療科目も不足している」（19.0%）の順となっている。



(2) 不足していると思う診療科目

問 14 付問（問 14 で2～3と回答した方へ）どの診療科目が不足していると思いますか。（○印いくつでも）

不足していると思う診療科目については、「皮膚科」が 51.5%と半数を占め最も高く、次いで「眼科」（44.6%）、「産婦人科」（43.7%）が続き、以下「婦人科」「泌尿器科」（各 26.5%）、「脳外科」（25.9%）、「小児科」（25.4%）の順となっている。

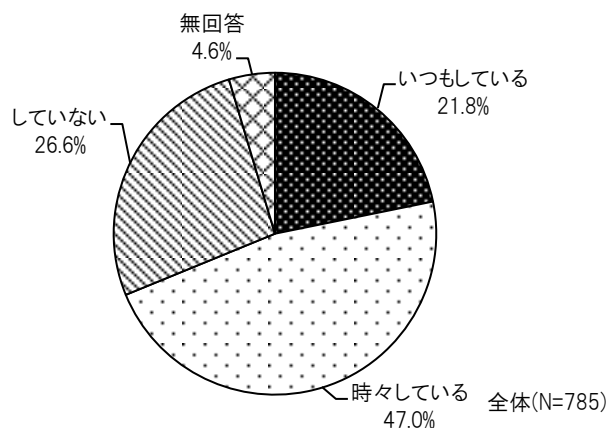


2. 健康づくりについて

(1) 健康づくり実践状況

問 15. あなたはふだん、健康づくりのために何か実践していますか。（○印1つ）

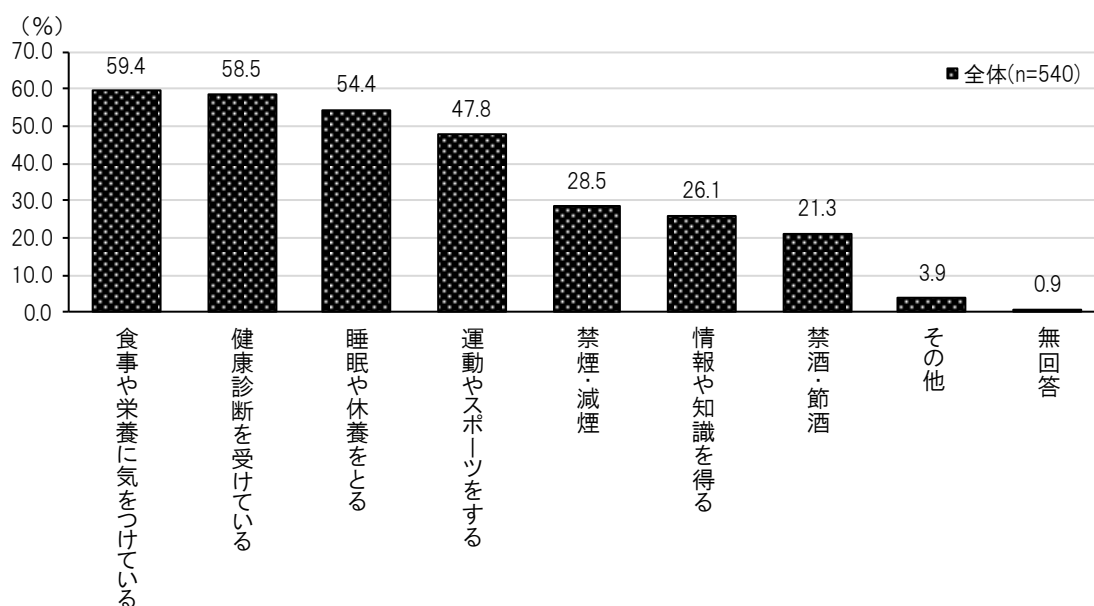
健康づくり実践状況については、「いつもしている」が21.8%、「時々している」が47.0%で、合計約7割（68.8%）が『実践している』と回答している。



(2) 健康づくりのために実践していること

問 15 付問 1. （問 15 で1～2と回答した方へ）あなたはふだん、健康づくりのために何を実践していますか。（○印いくつでも）

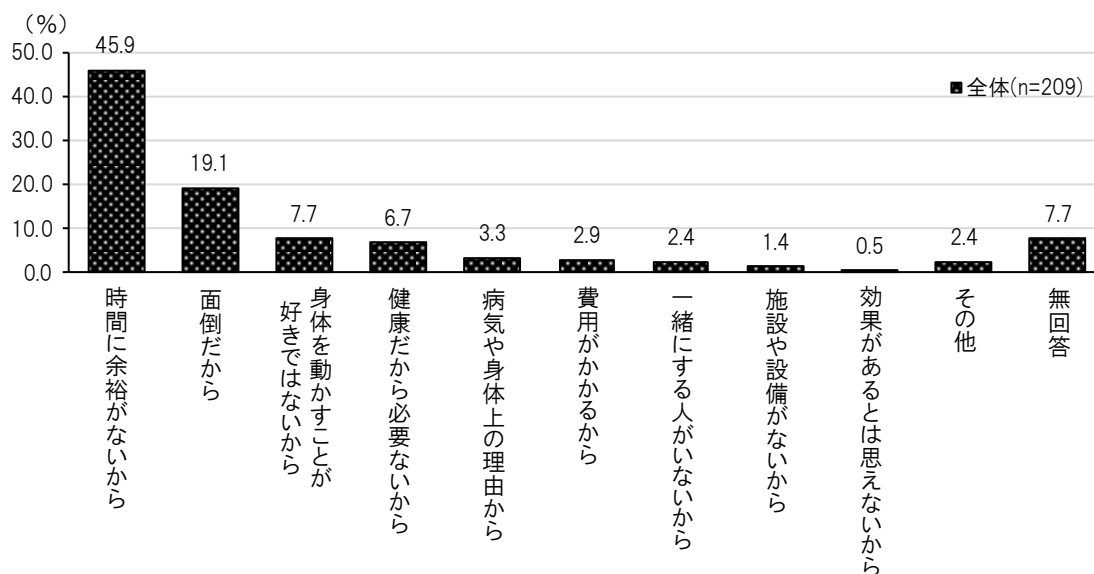
健康づくり実践状況については、「食事や栄養に気をつけている」が6割近く（59.4%）を占め最も高く、ほぼ並んで「健康診断を受けている」（58.5%）が続き、次いで「睡眠や休養をとる」（54.4%）、「運動やスポーツをする」（47.8%）の順となっている。



(3) 健康づくりを実践していない理由

問 15 付問 2. (問 15 で 3 と回答した方へ) あなたが健康づくりを実践していないのはどのような理由からですか。(○印1つ)

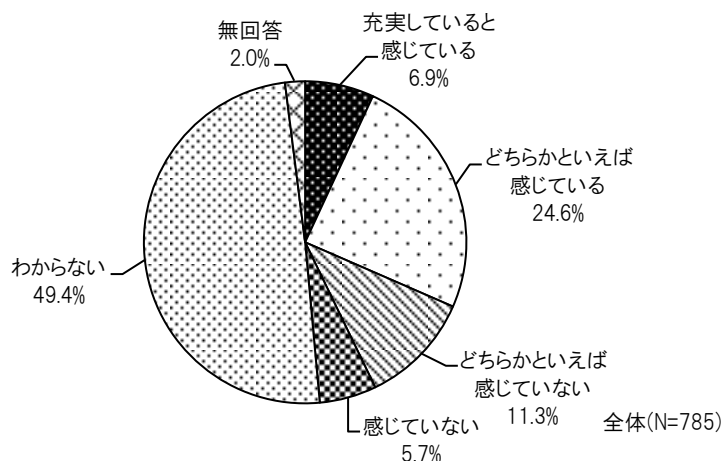
健康づくりを実践していない理由については、「時間に余裕がないから」が 45.9%と最も高く、次いで「面倒だから」(19.1%)が続いている。以下、「身体を動かすことが好きではないから」(7.7%)、「健康だから必要ないから」(6.7%)の順となっている。



3. 高齢者福祉・介護サービスの充実評価

問 16. あなたは、小城市の高齢者福祉・介護サービスは充実していると感じていますか。(○印1つ)

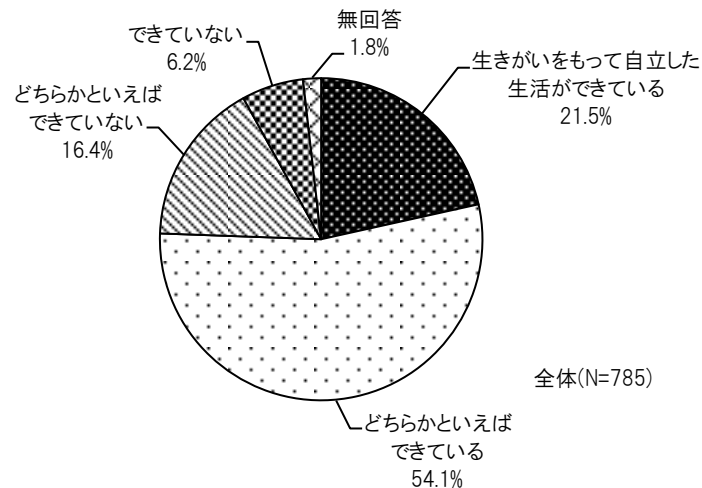
高齢者福祉・介護サービスの充実評価については、「充実していると感じている」が 6.9%、「どちらかといえば感じている」が 24.6%で、合計 31.5%が『充実している』と評価している。一方、「どちらかといえば感じていない」は 11.3%、「感じていない」は 5.7%で、合計 17.0%となっている。また、約半数が「わからない」と回答している。



4. 生きがいをもって自立した生活ができていることについて

問 17. あなたは「生きがいをもって自立した生活」ができていると思いますか。
(○印1つ)

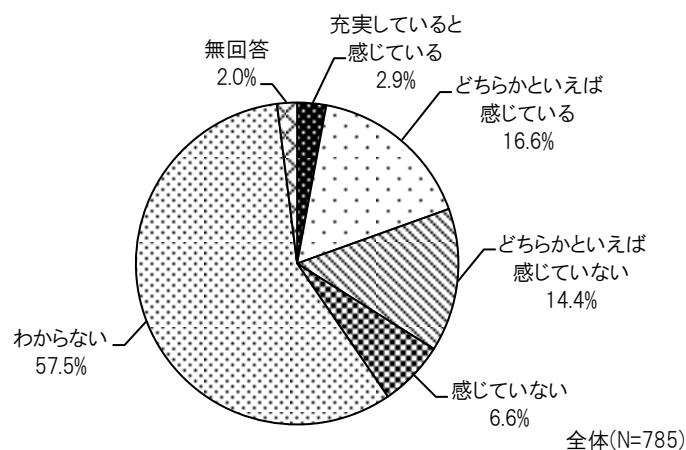
生きがいをもって自立した生活ができていることについては、「生きがいをもって自立した生活ができている」が21.5%、「どちらかといえばできている」が54.0%で、合計75.5%が『できている』と回答している。一方「どちらかといえばできていない」が16.4%、「できていない」が6.2%で、合計22.6%が『できていない』と回答している。



5. 障がい者福祉の充実評価

問 18. あなたは、小城市の障がい者福祉は充実していると思いますか。(○印1つ)

障がい者福祉の充実評価については、「充実していると感じている」が2.9%、「どちらかといえば感じている」が16.6%で、合計19.5%が『充実している』と評価している。一方、「どちらかといえば感じていない」は14.4%、「感じていない」が6.6%で、合計21.0%となっている。また「わからない」が過半数(57.5%)を占めている。

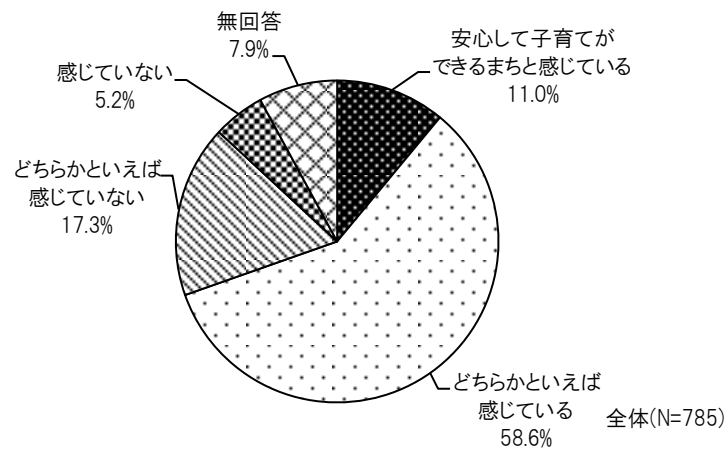


6. 子育てについて

(1) 安心して子育てができるまち評価

問 19. あなたは、小城市は「安心して子育てができるまち」と感じていますか。
(○印 1 つ)

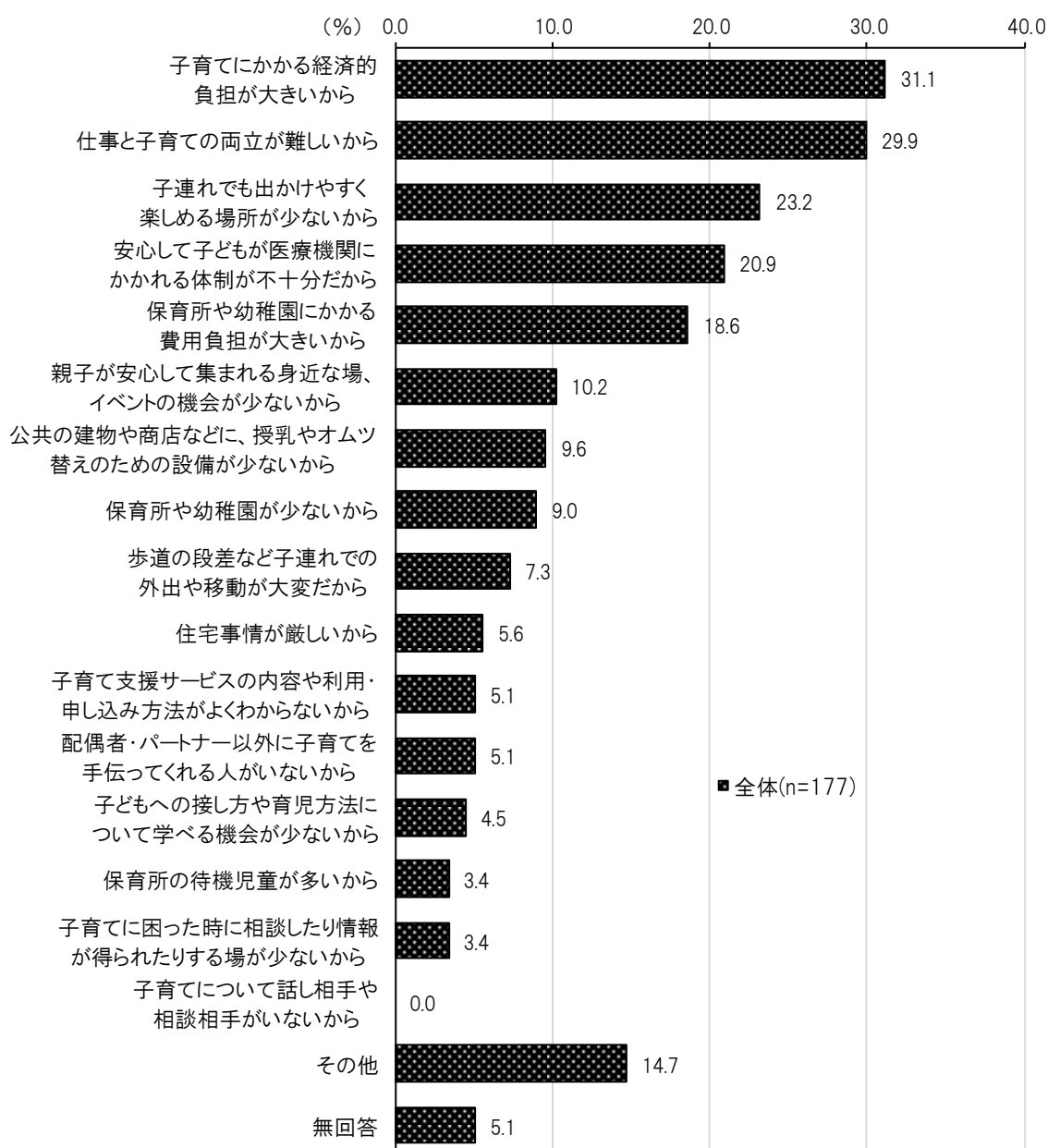
安心して子育てができるまち評価については、「安心して子育てができるまちと感じている」が 11.0%、「どちらかといえば感じている」が 58.6%で、合計 7 割近く (69.6%) が『感じている』と評価している。一方、「どちらかといえば感じていない」は 17.3%、「感じていない」が 5.2%で合計 22.5%となっている。



(2) 安心して子育てができるまちと感じない理由

問 19 付問 (問 19 で 3 ～ 4 と回答した方へ) 「安心して子育てができるまち」と感じていない主な理由はどのようなことですか。(○印 2 つまで)

安心して子育てができるまちと感じない理由については、「子育てにかかる経済的負担が大きいから」が 31.1%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいから」(29.9%)、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所が少ないから」(23.2%)、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制が不十分だから」(20.9%)、「保育所や幼稚園にかかる費用負担が大きいから」(18.6%)の順となっている。

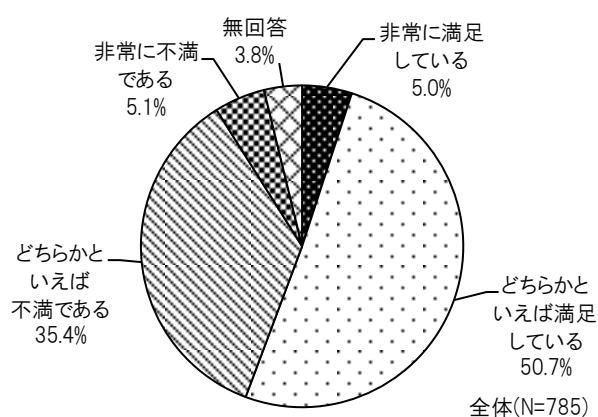


【7】観光について

1. 観光施設や観光イベントに対する満足度

問 20. あなたは、小城市内の観光施設や観光イベント（公営・民営いずれも）に満足していますか。（○印1つ）

観光施設や観光イベントに対する満足度については、「非常に満足している」が 5.0%、「どちらかといえば満足している」が 50.7%で、合計 55.7%が『満足』と評価している。一方、「どちらかといえば不満である」が 35.4%、「非常に不満である」が 5.1%で、合計 40.5%が『不満』と評価している。

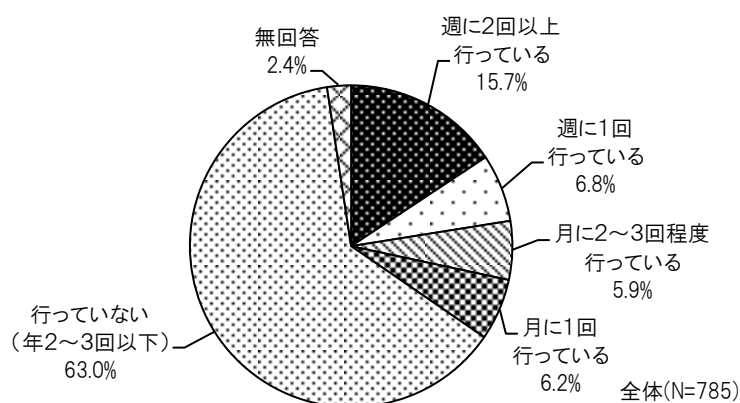


【8】社会教育・生涯学習について

1. スポーツ実践状況

問 21. あなたは、ご自分で決めた目的を持って、定期的に継続してスポーツを行っていますか。（○印1つ）

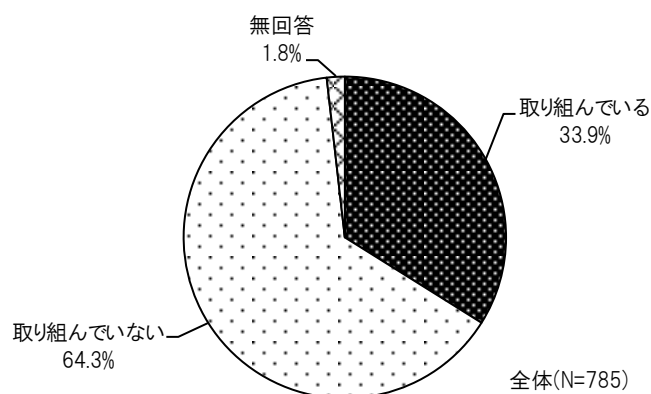
スポーツ実践状況については、「行っていない（年2～3回以下）」が63.1%であることから、およそ3人に1人が定期的に継続して何らかのスポーツを行っていると思われる。実践している場合の頻度は「週に2回以上行っている」割合が15.7%と最も高い。



2. 自発的、主体的な学習への取り組み状況

問 22. あなたは、ご自分で決めた目的のために、自発的、主体的な学習に取り組んでいますか。（○印1つ）

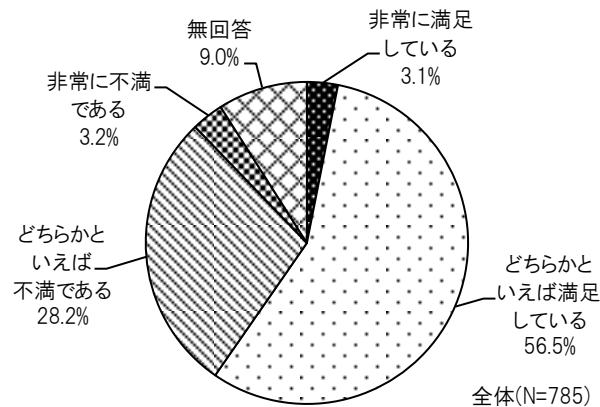
自発的、主体的な学習への取り組み状況については、「取り組んでいる」割合が33.9%となっている。



3. 市の芸術・文化活動に対する満足度

問 23. あなたは、市が主催する芸術・文化活動に満足していますか。（○印1つ）

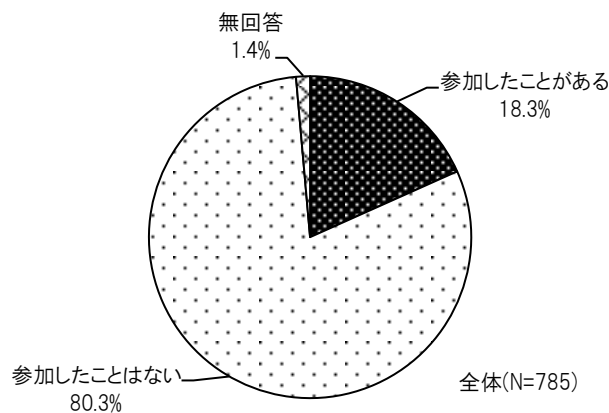
市の芸術・文化活動に対する満足度については、「非常に満足している」が 3.1%、「どちらかといえば満足している」が 56.6%で、合計 59.7%が『満足』と評価している。一方、「どちらかといえば不満である」が 28.2%、「非常に不満である」が 3.2%で、合計 31.4%となっている。



4. 文化的活動等への参加状況

問 24. あなたは、この1年間に中林梧竹記念館・小城市立歴史資料館などでの鑑賞、公民館や文化センターでの文化的活動などに参加したことがありますか。（○印1つ）

文化的活動等への参加状況については、「参加したことがある」割合は 18.3%となっている。

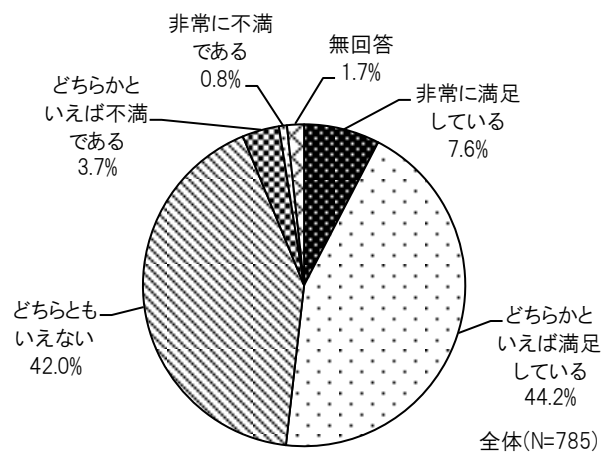


【9】市の広報活動について

1. 市の広報活動に対する満足度

問 25. 小城市では、広報誌（市報さくら）やホームページなどを使った広報などにより、様々な行政情報の提供を行っています。あなたは小城市の広報活動についてどの程度満足していますか。（○印1つ）

市の広報活動に対する満足度については、「非常に満足している」が 7.6%、「どちらかといえば満足している」が 44.2%で、合計 51.8%が『満足』と評価している。一方、「どちらかといえば不満である」が 3.7%、「非常に不満である」が 0.8%で、『不満』は合計 4.5%となっている。

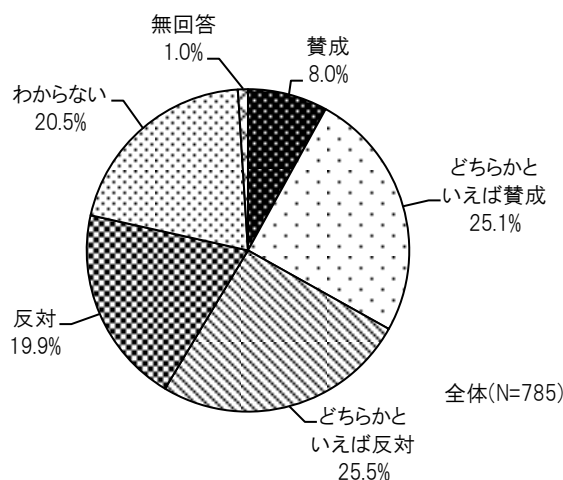


【10】男女共同参画、市民活動・ボランティア活動、協働について

1. 固定的な性別役割分担意識について

問 26. あなたは家庭生活において「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」だと思えますか。（○印1つ）

固定的な性別役割分担意識については、「賛成」が 8.0%、「どちらかといえば賛成」が 25.1%で、合計 33.1%が『賛成』を示した。一方、「どちらかといえば反対」が 25.5%、「反対」が 19.9%で、合計 45.4%が『反対』と回答している。また、「わからない」が 20.5%みられた。

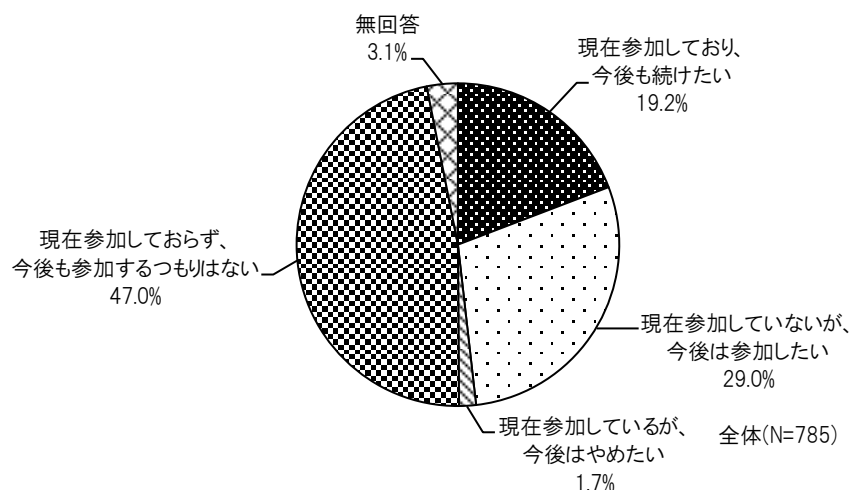


2. 市民活動やボランティア活動について

(1) 市民活動やボランティア活動参加意向

問 27. あなたは市民活動やボランティア活動へ参加していますか。（○印1つ）

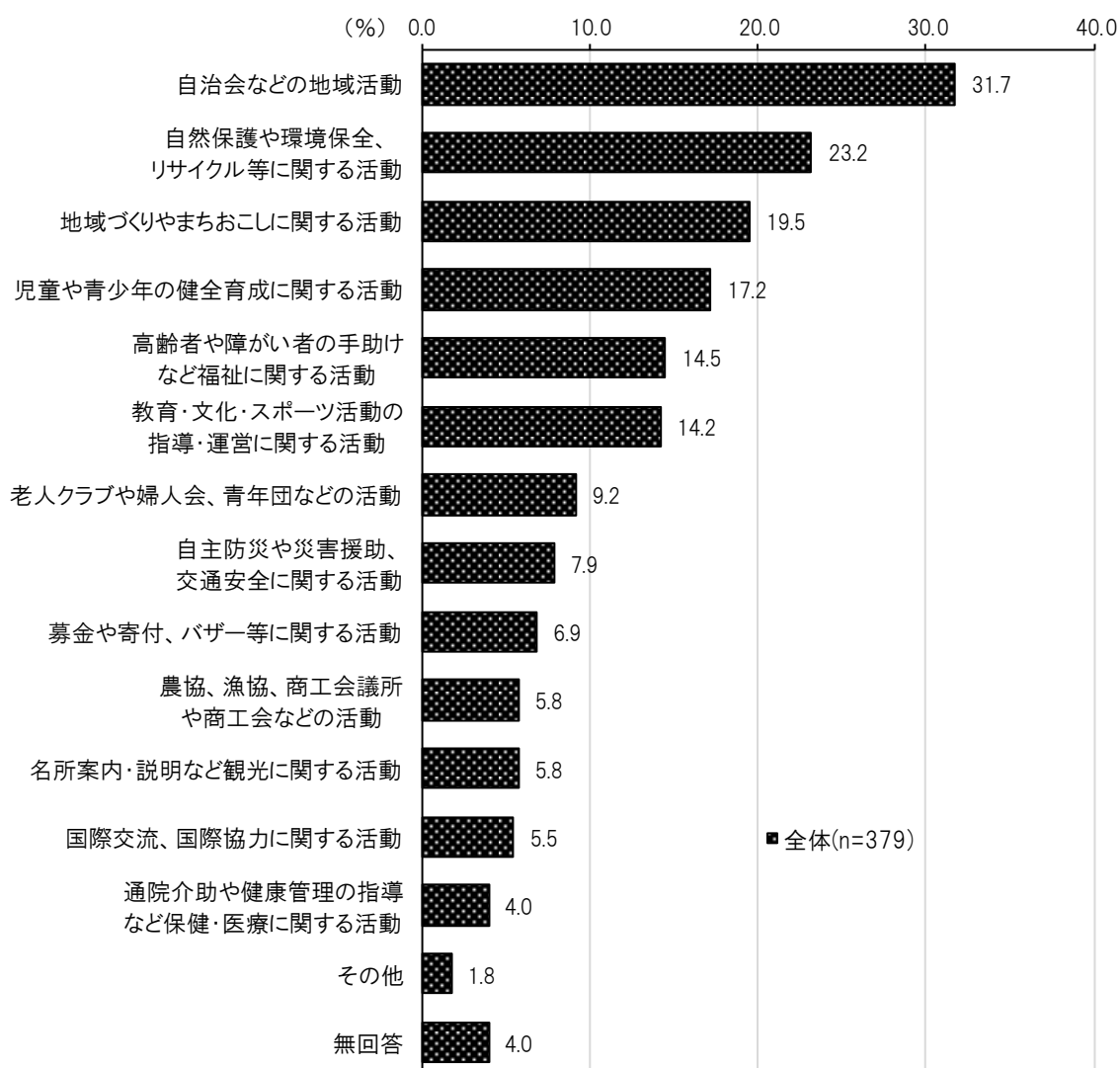
市民活動やボランティア活動参加意向については、「現在参加しており、今後も続けたい」が 19.2%、「現在参加していないが、今後は参加したい」が 29.0%と、合計 48.2%が『参加（継続）意向』を示した。一方、「現在参加しているが、今後はやめたい」は 1.7%で、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」割合が最も高く 47.0%となっている。



(2) 今後参加したい活動

問 27 付問（問 27 で 1 ～ 2 と回答した方へ）あなたは今後、どのような活動に参加したいと思いますか。（○印 2 つまで）

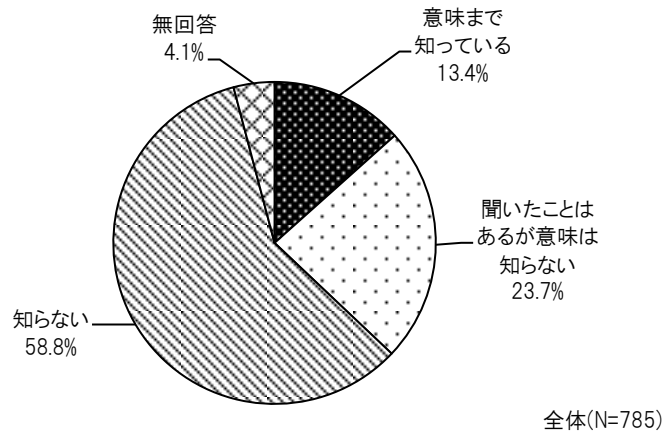
今後参加したい活動については、「自治会などの地域活動」が 31.7%と最も高く、次いで「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」（23.2%）、「地域づくりやまちおこしに関する活動」（19.5%）、「児童や青少年の健全育成に関する活動」（17.2%）、「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」（14.5%）、「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」（14.2%）の順となっている。



3. 「協働」の意味の認知

問 28. 市民・CSO※・企業、行政がともに協力して地域の課題解決を目指してまちづくりを進めていくことを「協働」といいますが、あなたはこの言葉の意味を知っていますか。（○印1つ）

「協働」の意味の認知については、「意味まで知っている」が13.4%、「聞いたことはあるが意味は知らない」が23.7%で、合計37.1%の『名称認知率』となっている。



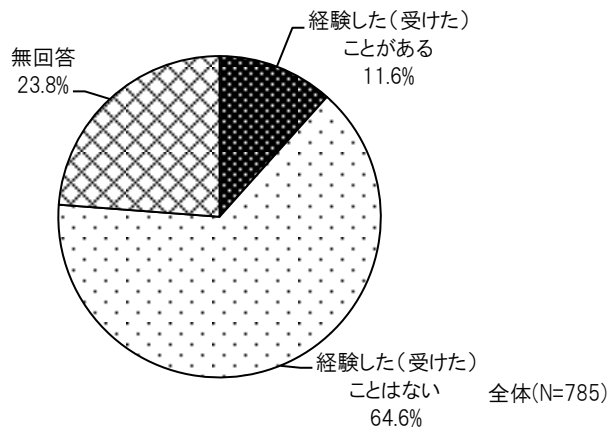
※CSO／市民社会組織（Civil Society Organizations）のことを言い、志縁団体（ボランティア団体・市民活動団体・まちづくり団体・NPO法人等）と地縁団体（自治会・婦人会・老人会・PTA等）の総称

【11】人権について

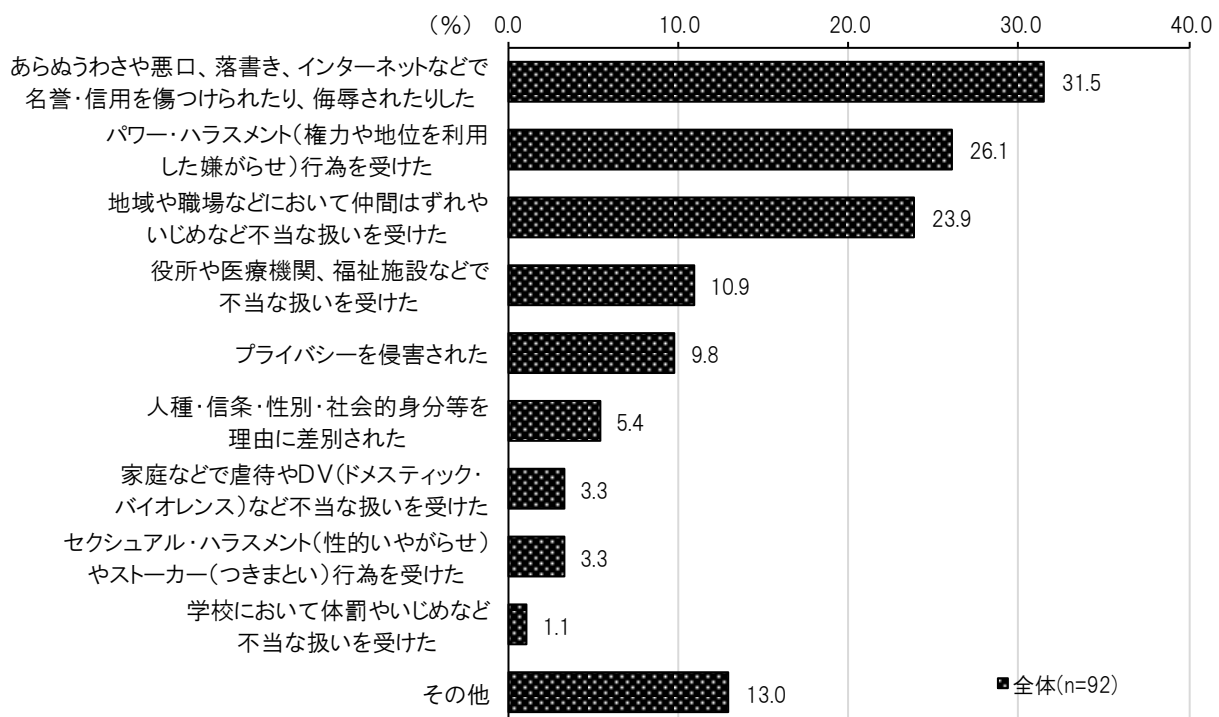
1. 人権侵害意識

問 29. あなたは、この1年程の間に、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。（○印いくつでも）

人権侵害意識については、「経験した（受けた）ことがある」は11.6%であった。



人権侵害意識を「経験した（受けた）ことがある」回答者（該当件数 92 件）についてその内容をみると、「あらぬうわさや悪口、落書き、インターネットなどで名誉・信用を傷つけられたり、侮辱されたりした」が31.5%と最も高く、次いで「パワー・ハラスメント行為を受けた」（26.1%）、「地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど不当な扱いを受けた」（23.9%）の順となっている。



【12】 市政運営について

1. 市政運営についての満足度

問 30. あなたは、小城市の行政経営（財政状況の健全化、行政改革、広域行政の推進など）についてどの程度満足していますか。（○印1つ）

市政運営についての満足度については、「非常に満足している」が 3.2%、「どちらかといえば満足している」が 56.8%で、合計 60.0%が『満足』と評価している。一方、「どちらかといえば不満である」が 28.5%、「非常に不満である」が 4.2%で、『不満』は合計 32.7%となっている。

